

西日本新聞

ペココストと闘野郎一最新作
みつえはあちゃん
とボク
恋いと記憶と
家族の物語
●巻頭記事 ● 書店で好評発売中

2017年
4月16日
(日曜日)

日本医風能
評面医風能
定 院長 法人 ミニフネ風と虹

心療内科 精神科

のぞね総合心療病院

〒700-0001 広島県広島市東区山手町1-7-5
TEL: 082-231-1111

あす	80	23	17
福岡	0	10	10
北九州	0	17	10
筑豊	10	17	10
筑後	10	17	10

取り残された傷抱え半歩

一歩の又ひと歩の歩み(1) 熊本地長(り)の半歩目、安否下

欧州からの風

TAO海外公演通信

2017年のヨーロッパツアーは、現在のプロモーターの初契約から10年という節目の年だった。ドイツ、スイス、オーストリア、スペインの4カ国を巡る九月65公演。

「海外公演」といって誰しも憧れるだろうが、今回の渡航メンバーは14人。3月のスペイン公演では10人になった。通常20人ほど展開している舞台を少数に縮減する不安や、この過酷な条件下での長期ツアーで、持て余すかモチベーションを保てるか心配していた。今回僕らは、ツアー開始の



タイ・エンターテインメント社長 藤高郁夫

出し、質を落とさずやっていく。全員のモチベーションも高く、ヨーロッパをいよいよ楽しんでいくようになった。景色や食のことがたまたま、現地スタッフや観客と触れ合う

東京五輪へ 国代表し



ヨーロッパツアーを終え、メンバーと記念撮影。手前右端が藤高郁夫社長

ことで友情のような特別な関係を築いていた。また、自分たちが日本の代表としてここに来ているという誇りが垣間見えた。TAOが28年間育んできた一つの結果のように思えた。TAOの精神力やチャー

△力は、海外ツアーでも培われたいのだ。

次回ヨーロッパツアーは19年を予定している。18年は5カ月に及ぶ北米ツアーが決定しているため、今回現地での打ち合わせでうれしかったのは、「お客さんは年々増えてない。ぜひ来年も戻ってきてほしい」というプロモーターの言葉だった。イタリヤ・フランスツアーにも意欲的だった。こうした新たな国にTAOが広がっていく。新たな人がTAOのシーンに出合い、驚き感動する現象も待っている。新作制作に没頭している代エンターテインメントが日本に存在することを。それが「日本に行きたい」という気持ちにつながり、訪日外国人誘客、また2020年東京オリンピック普及中で盛り上げる起爆剤となっていくのではと思う。

△力には、海外各地を訪れる際、観光名所や食を楽しむのも良いが、芸能も楽しみつつ、日本においてそれがTAOであるべきだし、今回のツアーでは衝撃的な体験をした。スペインの伝統芸能、フラメンコが発する情熱に度肝を抜かれた。総合エンターテインメントを自指す僕たちにとって、表現力が必要不可欠、大きな刺激を受けた。

帰国後、3カ月ぶりに全メンバーも集結し、また今年の新作舞台制作に没頭している。新作舞台は、スペインで体感した情熱が随所に入ってくるだろう。こうしてTAOの舞台は進化を続けるのだ。

(タイ・エンターテインメント社長、藤高郁夫)

〆〆〆〆

現場でも午前11時で決めた。

延びほつ。3月末、夫婦生活記念日「太陽節」を記、党委員長が観劇し、念する軍事パレードを平塚

【3面】「読み